

方剂名	効能	生薬組成
書籍	主治および証	病機 方意
<b>癰瘍剤 内癰剤 1</b>		
いけいとう 葦茎湯	清肺化痰・逐瘀排膿	芦根（葦茎）30g・薏苡仁30g・冬瓜仁24g・桃仁9g 水煎し服用する。
備急千金要方	<p>&lt;主治&gt;</p> <p>肺癰 咳嗽、腥臭のある黄痰あるいは膿血痰、胸痛、舌質が紅、舌苔が黄膩、脈が滑数などを呈す。</p> <p>&lt;病機&gt;</p> <p>熱毒が肺に蘊結し痰瘀互結して癰を生成した状態で、肺化膿症に相当する。 肺が熱灼されて宣降できないので咳嗽が生じ、熱毒壅滞、痰熱互結で血敗化膿するために腥臭のある黄痰や膿血痰を咯出する。瘀熱が肺絡を阻滯するので、胸痛があつて咳嗽時に甚だしい。舌質が紅、舌苔が黄膩、脈が滑数は、痰熱を示す。</p> <p>&lt;方意&gt;</p> <p>清肺、化痰、逐瘀、排膿する。 主薬は清肺泄熱の芦根（葦茎）で、肺癰に対する要薬である。祛痰排膿の冬瓜仁、清熱利湿の薏苡仁、活血祛瘀の桃仁が補佐し、痰瘀を両解し清熱排膿する。</p> <p>&lt;参考&gt;</p> <p>原著では葦茎（芦の地上部）を用いているが、現在では芦根（芦の地下茎）を用いている。</p>	